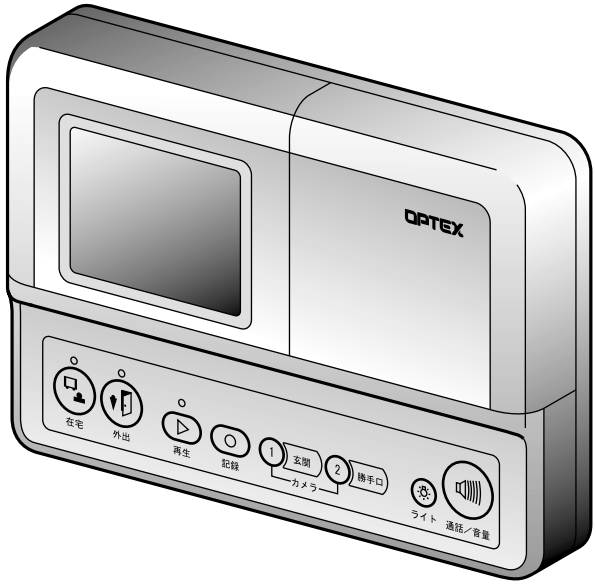
ビジュアルセキュリティ VS-100

液晶モニター付き画像記録ユニット

施工説明書

本書は設置、配線、使用前の設定について記載しています。
日常の操作のしかたについては、「取扱説明書」をお読みください。



付属品
取り付けプレート
取り付けネジ 4 本
カメラ設置場所表示シール

もくじ

はじめに 2
設置・配線作業でのご注意 2
1. 製品の特長 3
2. システム構成 3
3. 各部の名称 4
3.1 本体 4
3.2 端子配列（端子カバー内部） 5
3.3 本体裏面 5
4. 設置のしかた 6
5. 配線のしかた 7
5.1 接続例 7
5.2 配線をする 7
6. 基本動作の確認 8
7. 設定のしかた 9
7.1 日付と時刻を設定する 9
7.2 記録条件を設定する 10
7.3 外部映像出力する
基準カメラを切り換える 11
8. 仕様 11
8.1 仕様 11
8.2 外形寸法図 12

はじめに

このたびは、ビジュアルセキュリティ(液晶モニター付き画像記録ユニット)VS-100をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。この施工説明書は、製品を設置する前に必ずお読みのうえ、正しい取り扱いをしていただくようお願いいたします。作業後は、この製品を使用する方に施工説明書をお渡しください。
なお、各種接続機器については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

■注意事項の表記について

この施工説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな記号を使っています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

⚠警告	**この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示します。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った使い方をすると、人がけがをしたり物的損害を受ける恐れがある内容を示します。**
	◯で示した記号は、してはいけない行為を示します。記号の中には、具体的な禁止内容（左の例の場合は一般的な禁止）を示します。
	●で示した記号は、必ず従っていただく行為を示します。記号の中には、具体的な指示内容（左の例の場合は一般的な強制事項）を示します。

■本文中の記号について

参照	**参照先ページ数を記述しています。**		**操作する内容に関連する情報を記述しています。**

■お願い

・本書に記載されている仕様などは、将来予告なく変更される場合があります。
・本書に記載している手順や注意事項に従わなかったことに起因する事故や損害に関しては、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■お断り

この商品は画像を記録するもので、盗難防止器ではありません。万一発生した盗難、その他の事故などによる損害については責任を負いかねますのでご了承願います。

設置・配線作業でのご注意

⚠警告

電源プラグは交流100V（AC100V）のコンセントにつないでください。
異なる電源・電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
交流100V電源直結工事はしないでください。電気工事士等の資格が必要です。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
感電・発火の恐れがあります。

電源プラグやコンセントに付着したほこりは必ず取り除いてください。
そのまま使用すると、発熱や火災の原因となります。

電源プラグは濡れた手で抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。

屋外には設置しないでください。
屋外で使用すると、機器の故障の原因となります。

風呂場などの湿気の多い場所、ほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所には設置しないでください。
火災や感電の原因となります。

機器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
足の上などに落ちてけがの原因となったり、機器の故障の原因となります。

暖房器具のそば、直射日光の当たる場所など、40°C以上になる場所には設置しないでください。
内部温度の上昇による発火や感電、けがの原因となります。

室内温度が0°C以下になる場所、エアコンなどの冷風が当たる場所には設置しないでください。
内部の故障の原因となります。

機器を改造したり、分解したり、部品を交換したりしないでください。
火災や感電、けがの恐れがあります。

⚠注意

電源コードを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
コードを持って引き抜くとコードが傷付き、火災、感電の原因となります。

1. 製品の特長

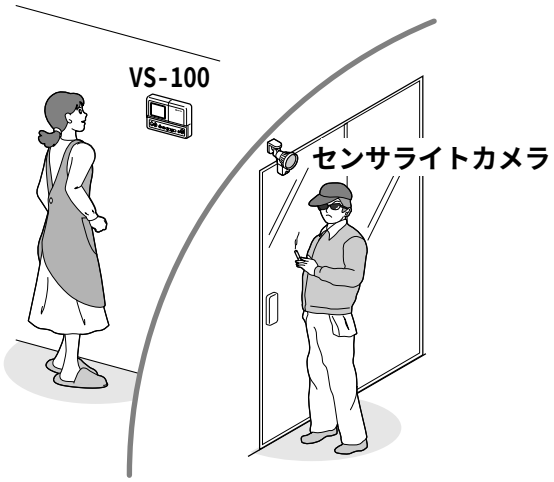
在宅時・外出時の来訪者、侵入者をセンサで自動検知して画像を記録できます。

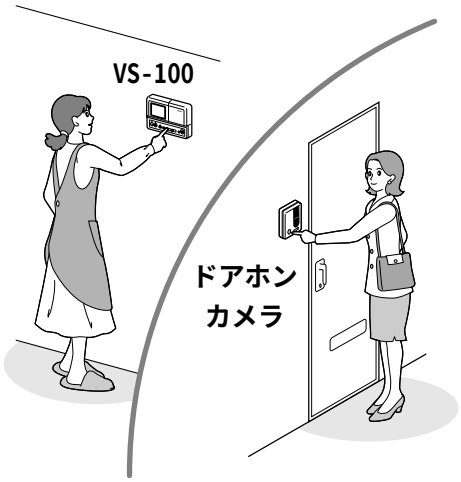
○ センサカメラやセンサライトカメラを接続すると､センサが来訪者､侵入者を検知した時にチャイムで知らせます。同時にその瞬間や前後の映像を静止画像で最大 33 枚デジタル記録します。カメラがとらえた映像は液晶モニターで見ることができます。

○ 画像は設定により、1秒間隔で3枚まで記録できます。また、2秒前の画像も記録（プリアラーム記録）することができます。

○ ドアホンカメラを接続すると、テレビインターホンとしても利用できます。また、留守中に来訪者の映像を記録することができます。

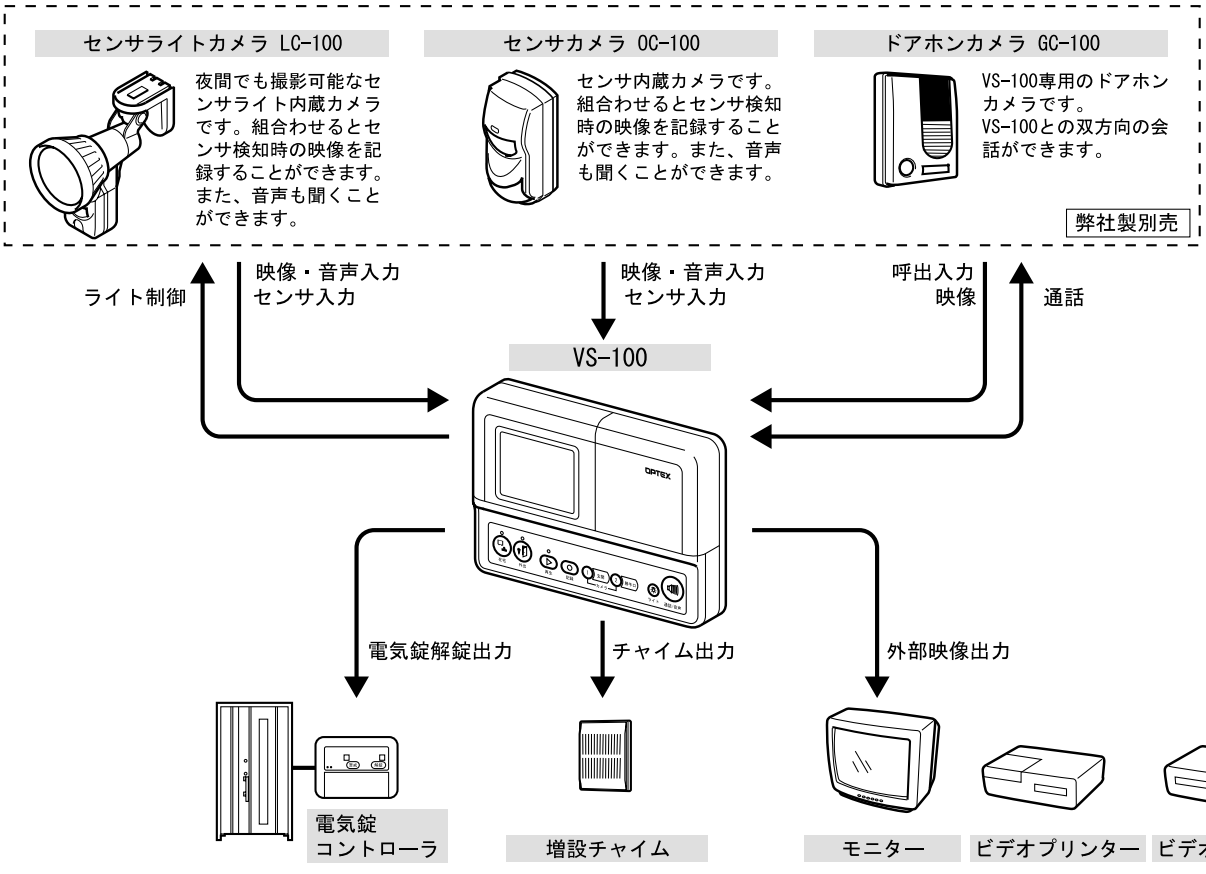
○ ビデオプリンターを接続すると、記録した画像をプリントすることができます。





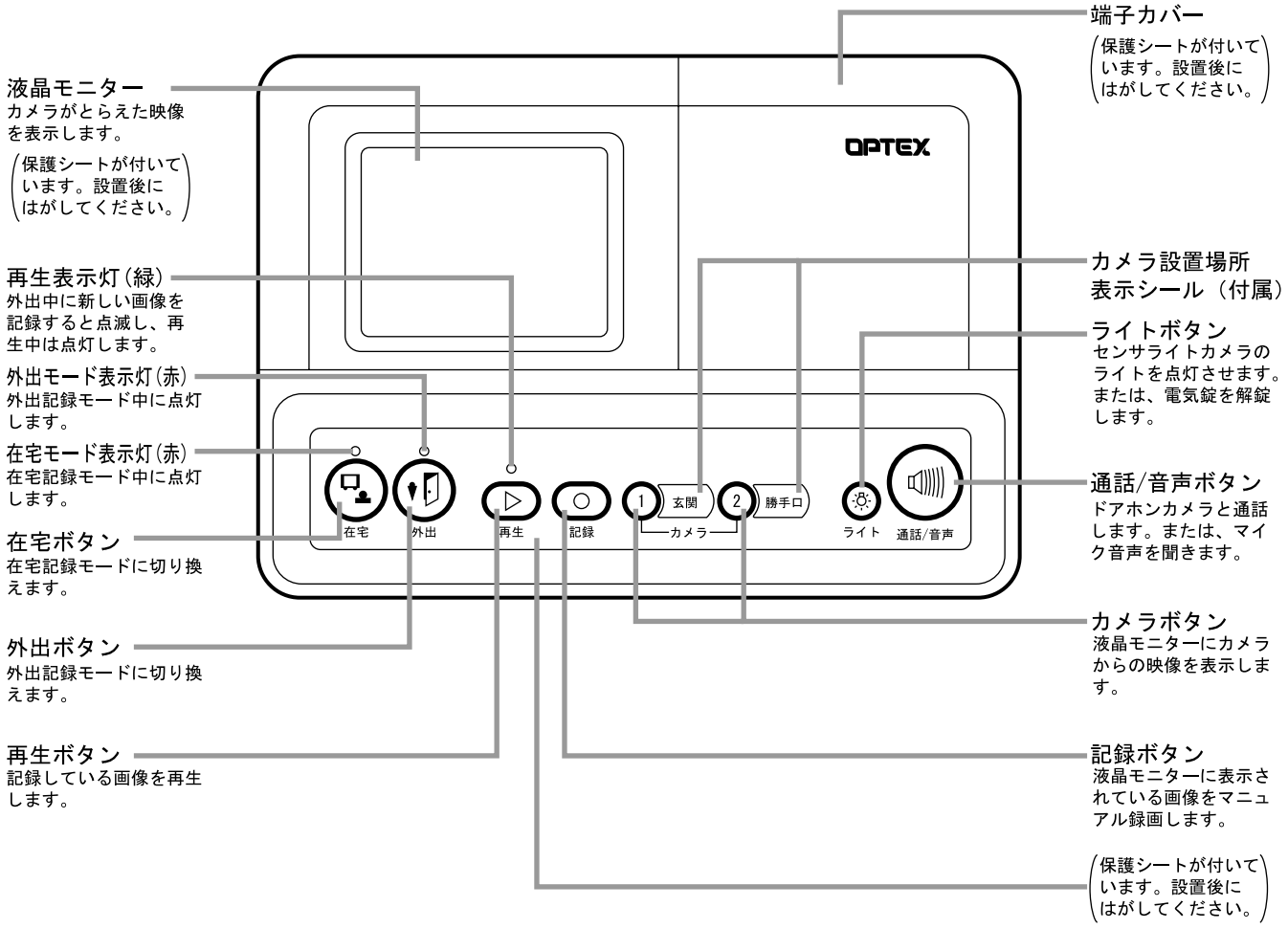
2. システム構成

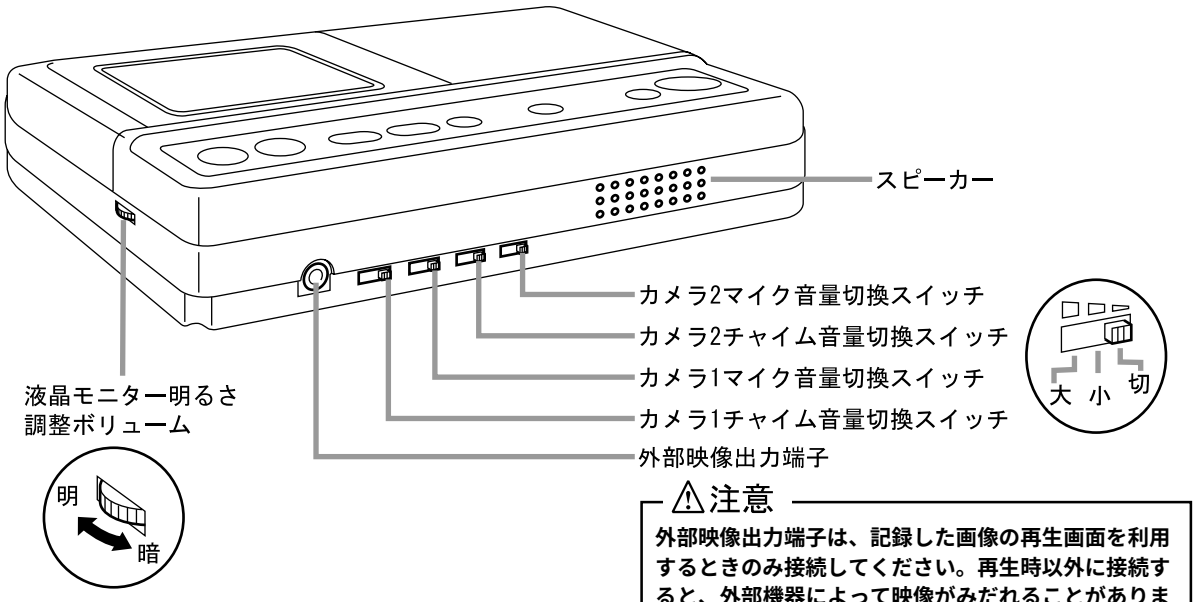
○ センサライトカメラ、センサカメラ、ドアホンカメラは組合わせて合計2台まで接続できます。



3. 各部の名称

3.1　本体

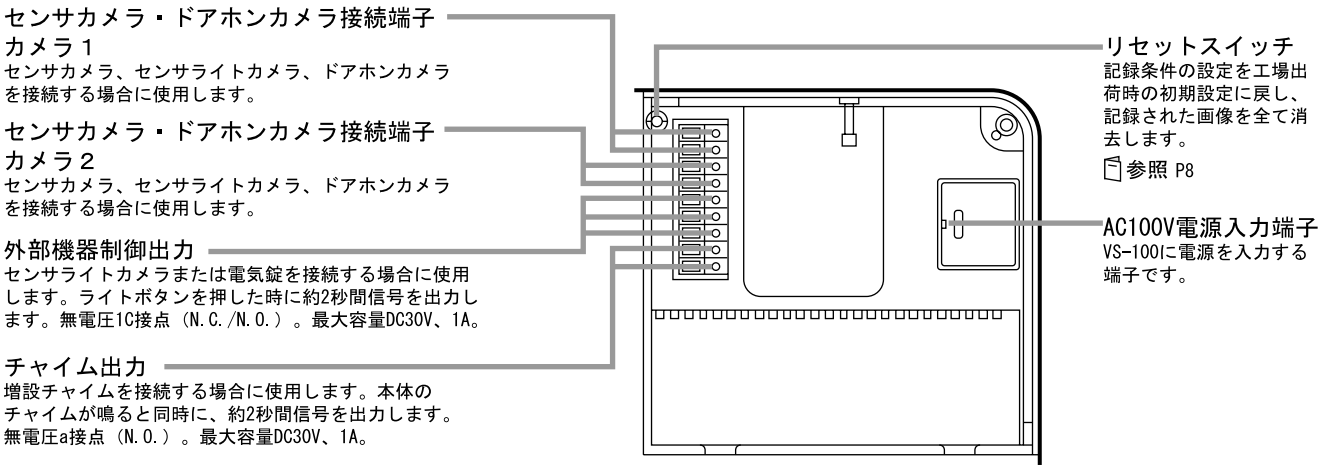




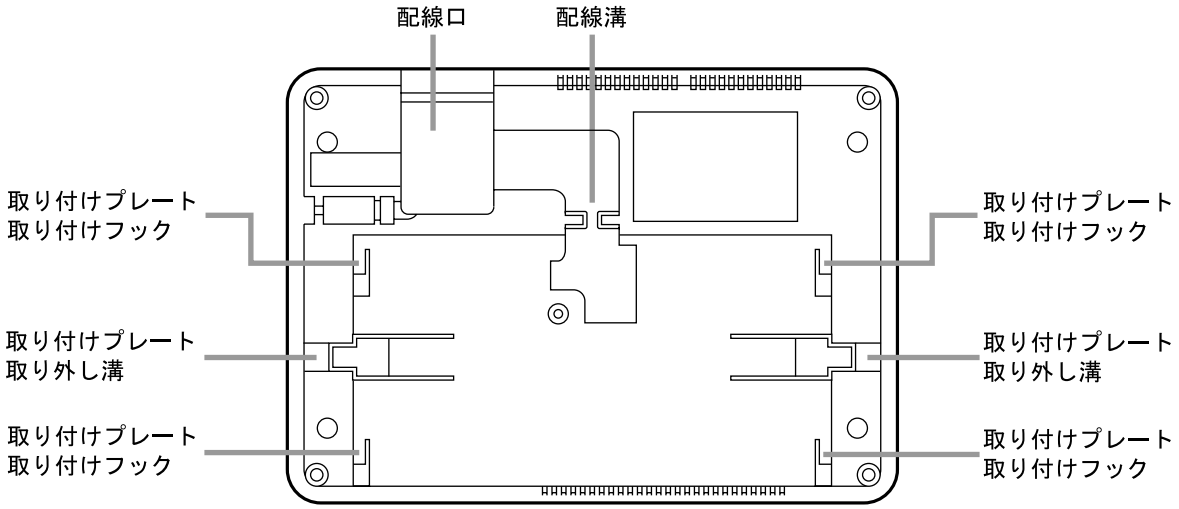
⚠注意

外部映像出力端子は、記録した画像の再生画面を利用するときのみ接続してください。再生時以外に接続すると、外部機器によって映像がみだれることがあります。

3.2　端子配列（端子カバー内部）



3.3　本体裏面



4. 設置のしかた

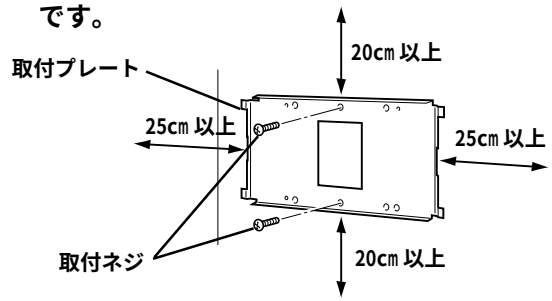
⚠警告 本体は床と平行に、しっかりと固定してください。
バランスが悪かったり、固定されていないと、落下して故障する場合があります。

⚠注意

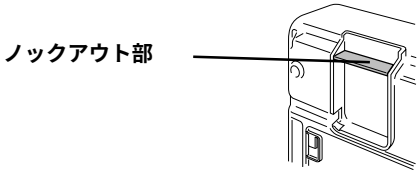
本体は 1 の図に示すように、上下左右の指定した範囲に棚等の障害物がない所に取り付けてください。

上は端子カバーネジを緩めて端子カバーを取り外すとき、また取り付けるときに必要です。
左右は本体を取り外す際ドライバーを差し込むときに必要です。
下はドアホンカメラを使用するときにハウリングを起こさないために必要です。

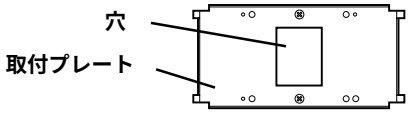
1 取付ネジ 2 本を使って、壁に取付プレートを取り付けます。取付プレートは上下対象です。



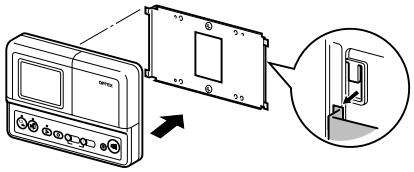
2 露出配線をする場合は、本体上部のノックアウト部をニッパーなどで切り取ります。



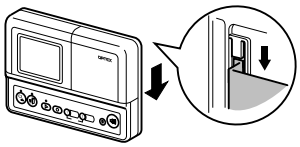
3 壁面に穴をあけて配線を通す場合は、下図の位置に穴をあけ、配線を本体裏面の配線溝にそって配線口まで通します。



4 本体裏面の取り付けフック 4 箇所を、下側から上側の順に取付プレートに差し込みます。

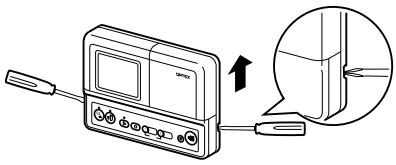


5 カチッと音がするまで、本体を下げて固定します。



取り外す場合

本体裏面の取り外し溝に両側からプラスドライバーを差し込み、本体を持ち上げて取り外します。
本体の左右に十分なスペースがない場合は、本体を強めに押し上げてください。



⚠注意

必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

5．配線のしかた

5.1　接続例

⚠注意

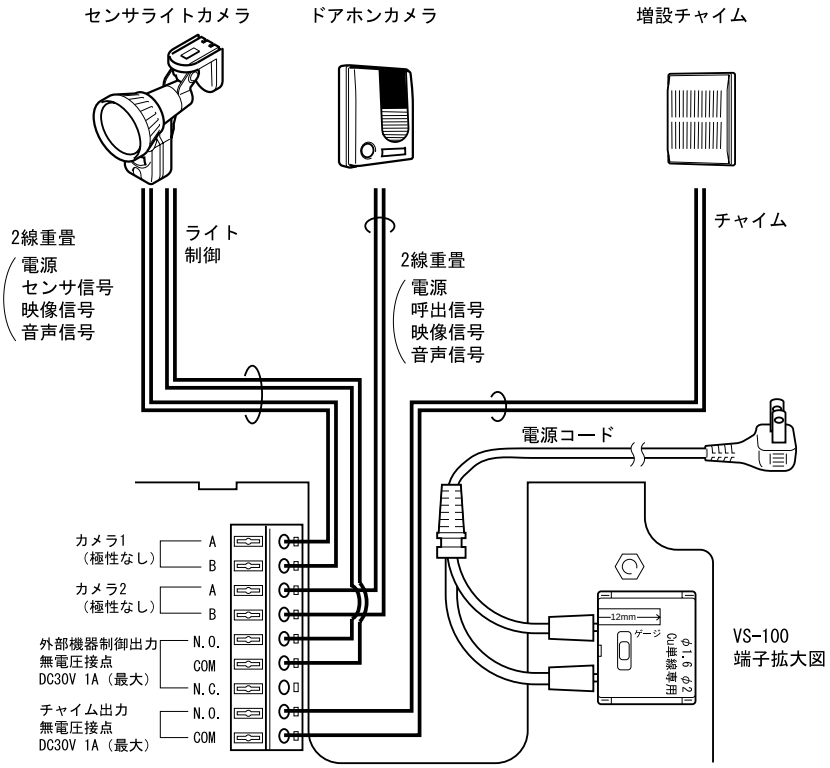
必ず、カメラ配線をしてから VS-100 の電源を投入してください。電源投入後にカメラ配線をしても、カメラは動作しません。

○ センサライトカメラ・センサカメラ・ドアホンカメラは、組み合わせて最大 2 台まで接続できます。その他、増設チャイム、外部モニター、電気錠が接続できます。

○ 増設チャイムは乾電池式をご使用ください。

⚠注意

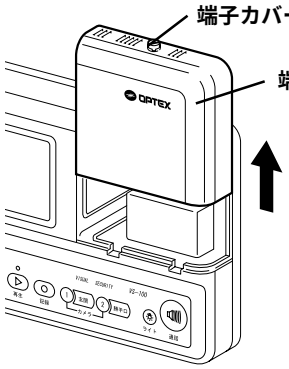
・センサライトカメラのライト制御入力へ配線する場合、必ず同じ太さの 4 芯線を使用してください。
・カメラを 2 台使用する場合、必ず 1 台につき 1 本の多芯線を使用してください。1 本の多芯線で 2 台のカメラを配線すると正常動作しないことがあります。



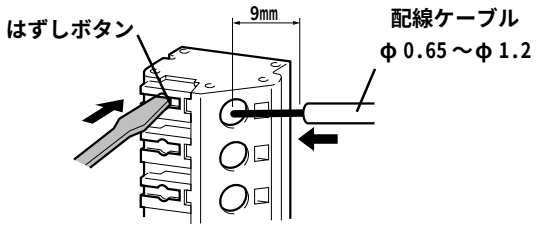
5.2　配線をする

⚠警告　配線をする時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電状態で作業をすると、感電の恐れがあります。

1　端子カバーネジをコイン等で緩め、端子カバーを取り外します。



2　各接続機器からの配線ケーブルを該当する端子に接続します。
配線ケーブルはφ 0.65 ～φ 1.2 の単芯を使い、被覆を 9㎜ むきます。連結端子のはずしボタンをマイナスドライバー等で押しながら端子の中に線を差し込み、はずしボタンを離します。



ケーブル	配線可能距離
φ 0.65	50m 以下
φ 0.9	100m 以下
φ 1.2	100m 以下

⚠注意

カメラを 2 台使用する場合、必ず 1 台につき 1 本の多芯線を使用してください。1 本の多芯線で 2 台のカメラを配線すると正常動作しないことがあります。

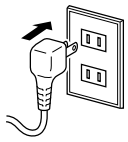
⚠注意

配線ケーブルはφ 0.65 ～φ 1.2 の単芯を必ず使用してください。長すぎる配線ケーブルは使用しないでください。
あまった配線ケーブルを束ねたまま配線すると、画像が乱れたり音声にノイズが入る可能性があります。
既設の配線はその線の種類によっては正常に動作しないことがあります。種類を確認の上、必要な場合は入れ換えてください。

3　端子カバーを取り付けます。

6．基本動作の確認

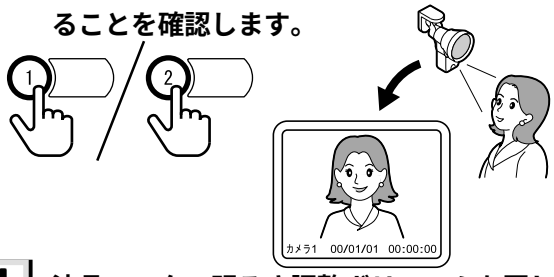
1 電源プラグをコンセントに差します。



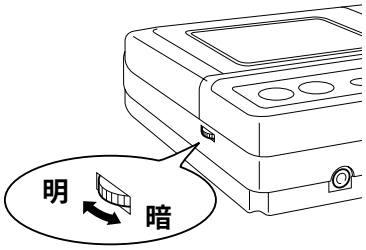
2 在宅表示灯が点灯することを確認します。

電源投入してから点灯するまで約10秒かかります。

3 カメラボタン1、2をそれぞれ押して、カメラからの映像が液晶モニターに表示されることを確認します。

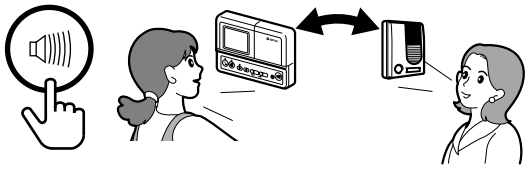


4 液晶モニター明るさ調整ボリュームを回して、液晶モニターの明るさを見やすいように調整します。
上に回すと明るく、下に回すと暗くなります。



5 接続しているセンサカメラ、センサライトカメラ、ドアホンカメラを順番に動作させ、チャイムが鳴ること、映像が映ることを確認します。

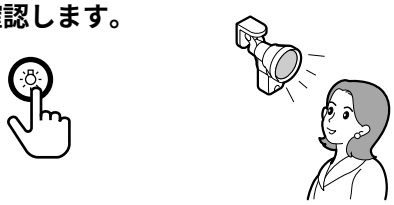
6 液晶モニターに表示されている状態で通話／音声ボタンを押し、音声が聞こえることを確認します。ドアホンカメラを接続している場合は、ドアホンカメラと通話できることを確認します。在宅ボタンを押して通話を終了します。



どちらか一方の声のみが極端に小さく聞き取れない場合は、プレストークをお使いください。 参照「取扱説明書」P8

7 アラーム記録が行われているか、再生して確認します。
参照「取扱説明書」P9

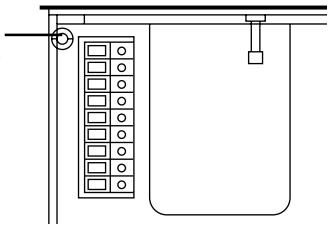
8 センサライトカメラのライト制御端子と接続している場合は、ライトボタンを押し、センサライトカメラのライトが点灯することを確認します。

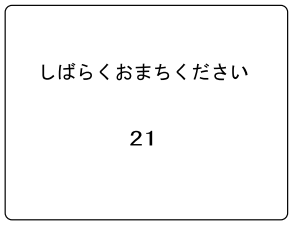


⚠注意
センサライトカメラのライト点灯時間切換スイッチを30秒または2分に設定してください。

9 電気錠を接続している場合は、ライトボタンを押し、電気錠が解錠されることを確認します。
増設チャイムを接続している場合は、増設チャイムが鳴ることを確認します。
外部映像出力にモニターを接続して映像が写ることを確認します。

10 基本動作を確認したときに記録された画像を一括で消去することができます。端子カバーを開け、リセットスイッチを約3秒押します。液晶モニターに完了まで(約30秒)の秒数が表示されます。0になると画像消去は完了し、在宅記録モードに移り液晶モニターの表示は消えます。





リセットスイッチを押すと

リセットスイッチを押して画像を一括消去すると、時計以外の設定が全て工場出荷時の初期設定の状態になります。 参照 P10

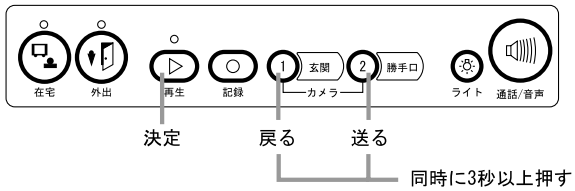
7．設定のしかた

7.1 日付と時刻を設定する

液晶モニターに表示する日付と時刻を設定します。カレンダーセッテイ画面で操作します。2000年は“00”と設定し、時間は24時間で設定します。秒の設定は、常に00秒となります。一度設定すると、リセットスイッチが押されても初期設定には戻りません。また、停電しても約5時間バックアップされます。
（工場出荷時の初期設定は、“00（年）01（月）/01（日） 00（時):00（分）”です。）

設定画面でのボタン機能

カメラボタンの1と2を同時に3秒以上押すと設定画面になります。設定画面では、再生ボタン、カメラボタンを次の機能に使用します。他のボタンは使用できません。



3分以上入力がない場合

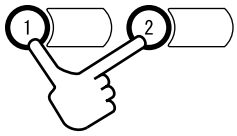
設定は設定画面最後の“セッテイ はい いいえ”の“はい”を選択して初めて変更されます。参照 P10
設定画面途中で3分以上操作されなかった場合は、元の設定のまま在宅記録モードに戻ります。再度設定を行う場合は 1 からやり直してください。

設定を間違えた場合

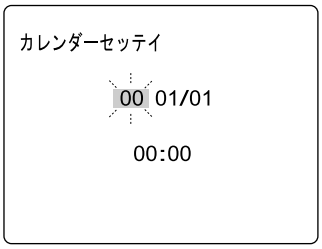
設定を間違えた場合は、再生ボタンを繰り返し押し、設定画面最後の“セッテイ はい いいえ”の“いいえ”を選択してカレンダーセッテイ画面からやり直してください。

1 **設定画面に入る**

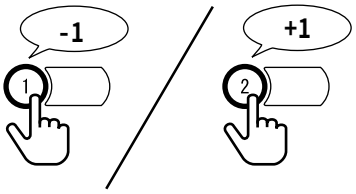
カメラボタンの1と2を同時に3秒以上押します。



➡ 液晶モニターにカレンダーセッテイ画面が表示され、「年」の表示が点滅します。

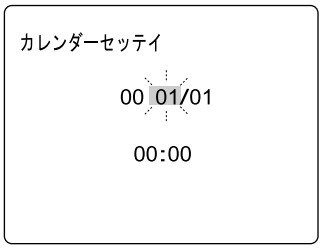


2 「年」を西暦下2桁で設定します。カメラボタンの1を押すと数値が減り、2を押すと数値が増えます。



3 再生ボタン（決定）を押します。

➡ 「年」が決定され、「月」の表示が点滅します。



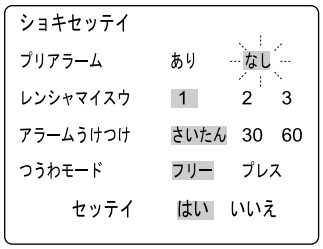
4 2、3を繰り返して、「月」「日」「時」「分」を設定します。
「分」の設定が終わると、次の設定画面(ショキセッテイ画面)に移ります。
参照 P10

7.2 初期設定をする

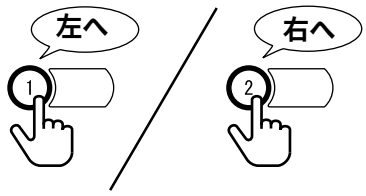
ショキセッテイ画面で状況に応じた最適な設定ができます。プリアラーム設定と連写枚数設定を変え、より確実に画像を記録します。設定内容は、接続されている全てのカメラで同じ設定になります。（通話モード設定はドアホンカメラのみ有効な設定です。）ここでの設定は、リセットスイッチが押されると、工場出荷時の初期設定に戻ります。設定した内容は必ず機器をご使用になる方にお伝えください。

プリアラーム	センサカメラが検知したとき、またはドアホンカメラの呼出ボタンが押されたときに、検知時の記録に加えて、検知2秒前の画像を記録することができます。これをプリアラーム記録と呼びます。プリアラーム記録するかしないかを設定します。初期設定は“なし”です。
連写枚数（レンシャマイスウ）	センサカメラが検知したとき、またはドアホンカメラの呼出ボタンが押されたときに、連続して記録する画像の枚数を設定します。撮影間隔は1秒です。初期設定は“1（枚）”です。
アラーム受け付け（アラームうけつけ）	センサカメラが検知した後、同じセンサカメラで検知があっても何秒間かは記録しないように設定します。初期設定は“さいたん”です。
通話モード（つうわモード）	“フリー”（ハンズフリーモード）、“プレス”（プレストークモード）のいずれかに設定します。通常、“フリー”に設定します。ただし、“フリー”に設定した場合、周囲の騒音が大きいと片側の音声が通らなくなることがあります。常に騒音が大きい設置環境に限り、“プレス”に設定します。なお、“フリー”に設定した場合は、通話中にプレストークモードへ切り換えられます。参照「取扱説明書」P8

➡ カレンダーセッテイ画面で「分」の設定が終わると、ショキセッテイ画面が表示され、プリアラームの欄でカーソルが点滅します。

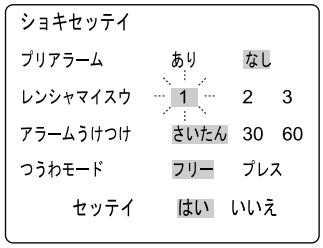


1 プリアラームのあり／なしを選択します。
カメラボタン1を押すと左にカーソルが移動し、2を押すと右にカーソルが移動します。



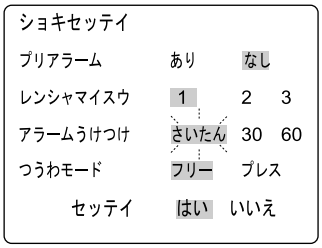
2 再生ボタンを押すと決定します。

➡ プリアラームのあり／なしが決定され、連写枚数の欄でカーソルが点滅します。



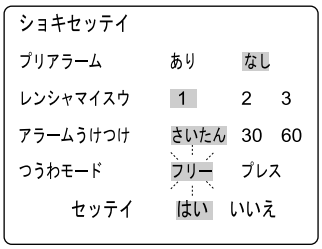
3 1、2を繰り返して連写枚数を設定します。

➡ 連写枚数の設定が終わると、アラーム受け付けの欄でカーソルが点滅します。（単位は秒です。）



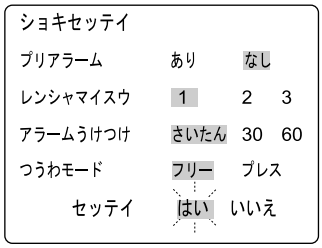
4 1、2を繰り返してアラーム受け付けを設定します。

➡ アラーム受け付けの設定が終わると、通話モードの欄でカーソルが点滅します。



5 1、2を繰り返して通話モードを設定します。

➡ 通話モードの設定が終わると、設定確認の欄でカーソルが点滅します。



6 “セッテイ”で“はい”を選択したまま再生ボタンを押すと設定完了し、在宅記録モードに戻ります。

設定をやりなおす場合

“いいえ”を選択して再生ボタンを押すと、それまでの設定を取り消してカレンダーセッテイ画面に戻ります。

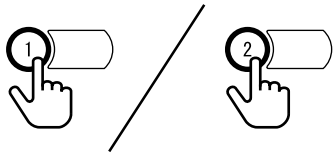
7.3 外部映像出力する基準カメラを切り換える

⚠注意

外部映像出力端子は、記録した画像の再生画面を利用するときのみ接続してください。再生時以外に接続すると、外部機器によって映像がみだれることがあります。

外部映像出力端子に接続した外部モニターに常に映し出される標準のカメラを設定します。カメラを2台接続している場合は、次の方法で基準カメラを設定することができます。初期設定では、カメラ1が基準カメラとなっています。

1 カメラボタン1、2のいずれかを3秒以上押します。



➡「ピッ」と音が鳴り、基準カメラに設定されます。

外部モニターの表示

外部モニターは、液晶モニターが映像を表示しているときはそれと同じ映像を表示し、液晶モニターが消えているときは基準カメラに設定されたカメラの映像を表示します。基準カメラに設定された側にカメラが接続されていない場合（例：基準カメラがカメラ1に設定されていてカメラ2のみ接続されている）、液晶モニターが消えているときは外部モニターも映像を表示しません。

8. 仕様

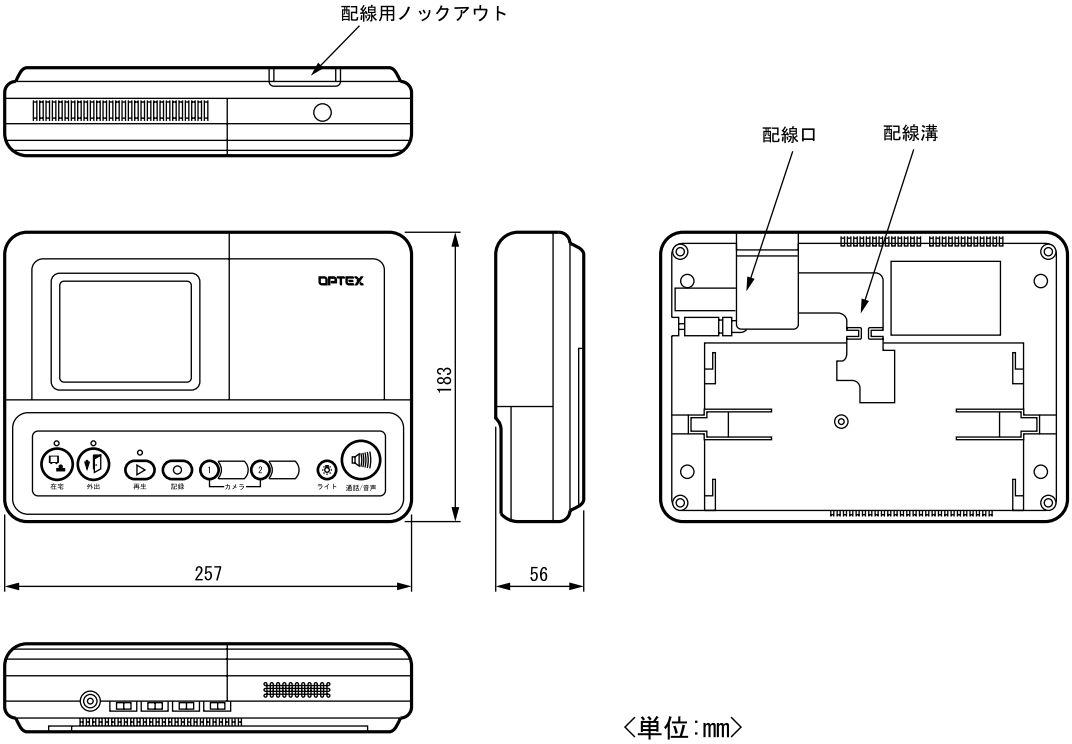
8.1 仕様

仕様は予告なく変更することがあります。予めご了承願います。

一般仕様	
型式	VS-100
定格電圧	AC100V　50/60Hz
定格消費電力	動作時32W、待機時22W
使用温度範囲	0～+40℃
呼出音	ピンポーン×2(大、小、切調整可能)
スピーカー	音量調整可能（大、小、切）
通話方式	ハンズフリー双方向通話 （プレストーク切り換え可能）
外形寸法	縦183㎜×横257㎜×奥行56㎜
質量	約1300g
表示	
モニター	4インチTFTカラー液晶モニター
表示灯	在宅記録モード（赤LED）、外出記録モード（赤LED）、再生モード（緑LED）

入出力		
専用カメラ入力	接続台数2台（最大）	
配線距離 (VS-100からの距離)	線径	配線距離
	φ0.65	50m以下
	φ0.9	100m以下
	φ1.2	100m以下
外部映像出力	RCAピンジャック×1 （NTSC方式1.0Vp-p±10%/75Ω）	
チャイム出力	無電圧a接点(N.O.)DC30V 1A(最大)	
外部機器制御出力	無電圧c接点(N.C./N.O.)DC30V 1A(最大)	
画像記録		
記録枚数	最大33枚（カラー静止画）	
圧縮方式	JPEG方式	
記録方式	アラーム記録(自動)、マニュアル記録(手動)	
記録設定	プリアラーム(約2秒前記録)：あり / なし 連写枚数：1/2/3 アラーム受け付け：最短/30秒/60秒	

8.2　外形寸法図



〈単位:mm〉

オプテックス株式会社　SEC 営業部

本　　社　〒520-0801　滋賀県大津市におの浜4-7-5
TEL(077)524-0211　FAX(077)524-3201
東京営業所　〒160-0023　東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル18F
TEL(03)3344-5775　FAX(03)3344-5734

01-03 5909281 MADE IN JAPAN